

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月8日
【四半期会計期間】	第90期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	三井製糖株式会社
【英訳名】	Mitsui Sugar Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 飯田 雅明
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	財経本部財経統括部長 馬鳥 秀彰
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	財経本部財経統括部長 馬鳥 秀彰
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第1四半期連結 累計期間	第90期 第1四半期連結 累計期間	第89期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	24,503	24,039	96,213
経常利益(百万円)	1,208	1,970	6,181
四半期(当期)純利益(百万円)	707	1,196	4,451
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	930	1,807	5,031
純資産額(百万円)	56,805	61,756	60,483
総資産額(百万円)	88,857	91,422	93,294
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.31	8.98	33.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	59.34	62.99	60.40

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による期待感から始まった景気の持ち直し基調が、各種政策効果と相俟って企業の生産活動や個人消費へと波及していくなど、着実に回復の動きを強める中、当第1四半期末を迎えました。

このような状況の中、当社グループは期初に掲げた連結経常利益の史上最高益を目指すべく、第4次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution 2013（2012年4月～2014年3月）」の達成に向けて邁進して参りました結果、当第1四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下のとおりとなりました。

(砂糖事業)

砂糖事業につきましては、前年10月に岡山工場からの生産集約を実施した神戸工場は新設した上白糖包装館を含めて順調に稼動し、製造固定費や販売直接費などは、計画通りコストダウンを図りました。

一方、砂糖市況につきましては、海外粗糖相場が世界最大の生産・輸出国ブラジルでの降雨による収穫遅れなどを背景にした強材料と、同国での供給懸念の後退やアジア地区最大の輸出国タイ国での好調な生産見通しなどの弱材料が交錯し、比較的小幅レンジでの展開となったことから、国内価格に変動はありませんでした。

売上高としては、海外粗糖相場の影響などから前年比での国内販売価格水準が下落したことや、6月需要期前の天候不順や気候が低温に推移したこと、また量販店での特売の減少などから販売量も伸び悩み、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高21,251百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は937百万円（前年同期比43.0%増）となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて182円～183円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値17.70セント 高値18.15セント 安値16.02セント 終値16.45セント

(食品素材事業)

食品素材事業につきましては、既存事業は前年並みに推移しましたが、前年7月に連結子会社株式会社タイショーテクノスが田辺三菱製薬株式会社より食品事業の一部を譲り受けたことが貢献した結果、売上高は2,489百万円（前年同期比24.3%増）、営業利益は111百万円（前年同期比53.7%増）となりました。

(不動産事業)

引き続き社有不動産の効率的活用に努めましたが、前年度において一部賃貸物件を売却したことを主因として売上高、営業利益ともに前年同期を下回った結果、売上高は298百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は152百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,039百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は1,201百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー773百万円を計上したことなどから経常利益は1,970百万円（前年同期比63.1%増）、四半期純利益は1,196百万円（前年同期比69.1%増）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は173百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	141,667,400	141,667,400	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	141,667,400	141,667,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	141,667,400	-	7,083	-	1,177

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 8,518,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 132,398,000	132,398	同上
単元未満株式	普通株式 751,400	-	同上
発行済株式総数	141,667,400	-	-
総株主の議決権	-	132,398	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三井製糖株式会社	東京都中央区日本橋箱崎町36-2	8,118,000	-	8,118,000	5.73
南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町三丁目2-9	400,000	-	400,000	0.28
計	-	8,518,000	-	8,518,000	6.01

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,648	8,105
受取手形及び売掛金	6,380	6,503
商品及び製品	15,440	12,061
仕掛品	1,764	1,401
原材料及び貯蔵品	4,526	5,790
繰延税金資産	601	560
その他	1,057	975
流動資産合計	37,420	35,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,917	32,940
減価償却累計額	21,703	21,858
建物及び構築物(純額)	11,213	11,081
機械装置及び運搬具	74,052	74,257
減価償却累計額	60,524	60,994
機械装置及び運搬具(純額)	13,527	13,262
工具、器具及び備品	2,259	2,270
減価償却累計額	1,874	1,903
工具、器具及び備品(純額)	384	366
土地	18,045	18,045
リース資産	35	43
減価償却累計額	6	7
リース資産(純額)	29	35
建設仮勘定	87	124
有形固定資産合計	43,287	42,916
無形固定資産		
無形固定資産合計	780	738
投資その他の資産		
投資有価証券	9,979	10,533
長期貸付金	54	52
繰延税金資産	925	951
その他	868	852
貸倒引当金	22	22
投資その他の資産合計	11,805	12,368
固定資産合計	55,874	56,023
資産合計	93,294	91,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,956	7,031
短期借入金	8,300	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,059	1,959
リース債務	4	6
未払費用	2,839	2,379
未払法人税等	1,206	672
未払消費税等	133	323
役員賞与引当金	57	13
資産除去債務	-	6
その他	1,210	1,646
流動負債合計	21,767	19,040
固定負債		
長期借入金	4,503	4,084
リース債務	24	29
繰延税金負債	1,062	1,069
退職給付引当金	3,069	3,087
役員退職慰労引当金	121	129
資産除去債務	294	284
長期預り保証金	809	784
その他	1,158	1,156
固定負債合計	11,043	10,624
負債合計	32,811	29,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,255	1,255
利益剰余金	51,205	51,868
自己株式	2,916	2,916
株主資本合計	56,627	57,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	289
繰延ヘッジ損益	5	1
為替換算調整勘定	554	7
その他の包括利益累計額合計	277	298
少数株主持分	4,133	4,168
純資産合計	60,483	61,756
負債純資産合計	93,294	91,422

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	24,503	24,039
売上原価	19,742	19,022
売上総利益	4,761	5,016
販売費及び一般管理費		
配送費	1,037	1,064
役員賞与引当金繰入額	11	13
退職給付引当金繰入額	39	39
役員退職慰労引当金繰入額	7	7
その他	2,758	2,689
販売費及び一般管理費合計	3,854	3,814
営業利益	906	1,201
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	35	48
受取ロイヤリティ	384	773
持分法による投資利益	38	22
雑収入	46	37
営業外収益合計	506	884
営業外費用		
支払利息	41	38
固定資産除却損	28	3
設備撤去費	61	26
雑損失	72	47
営業外費用合計	203	115
経常利益	1,208	1,970
特別利益		
投資有価証券売却益	7	-
固定資産処分益	43	-
負ののれん発生益	2,134	-
特別利益合計	2,185	-
特別損失		
投資有価証券評価損	14	-
段階取得に係る差損	2,121	-
その他	26	-
特別損失合計	2,161	-
税金等調整前四半期純利益	1,231	1,970
法人税、住民税及び事業税	335	718
法人税等調整額	171	23
法人税等合計	507	742
少数株主損益調整前四半期純利益	724	1,228
少数株主利益	16	31
四半期純利益	707	1,196

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	724	1,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	16
繰延ヘッジ損益	19	8
持分法適用会社に対する持分相当額	260	587
その他の包括利益合計	206	579
四半期包括利益	930	1,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	918	1,772
少数株主に係る四半期包括利益	12	35

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対する連帯保証

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
クムパワピーシュガー(株)	8百万円	クムパワピーシュガー(株) 8百万円
カセットボンシュガー(株)	69	カセットボンシュガー(株) 69
(株)ホクイー	21	(株)ホクイー 11
計	100	計 89

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	921百万円	833百万円
のれんの償却額	32	12

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	534	4.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	534	4.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,185	2,002	315	24,503	-	24,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	-	17	30	30	-
計	22,197	2,002	333	24,534	30	24,503
セグメント利益	655	72	177	906	-	906

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

北海道糖業株式会社の株式を追加取得したことに伴い、「砂糖事業」セグメントにおいて、負ののれん発生益を認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては2,132百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,251	2,489	298	24,039	-	24,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	-	13	26	26	-
計	21,264	2,489	312	24,065	26	24,039
セグメント利益	937	111	152	1,201	-	1,201

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円31銭	8円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	707	1,196
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	707	1,196
普通株式の期中平均株式数(千株)	133,352	133,348

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月2日

三井製糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三井製糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三井製糖株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。